**第９１回インカレ出場資格について**

1. **東西インカレにおける予選通過者数について**

東西インカレにおいて各クラス何名まで予選を通過できるかは、前年度のインカレ結果により、下記の方法で決定される。

男子7.8級クラス（３６枠）

１　東西それぞれ、基本枠として５枠が与えられる。

２　前年度インカレ上位１８名の東西比率によって、２３枠を東西に比例配分する。

３　前年度インカレ団体上位３校に、シード枠として１枠ずつ与えられる。

男子5.6級、3.4級クラス（２８枠）

１　東西それぞれ、基本枠として５枠が与えられる。

２　前年度インカレ上位１８名の東西比率によって、１８枠を東西に比例配分する。

女子7.8級クラス（３６枠）

１　東西それぞれ、基本枠として５枠が与えられる。

２　前年度インカレ上位１８名の東西比率によって、２３枠を東西に比例配分する。

３　前年度インカレ団体上位３校に、シード枠として１枠ずつ与えられる。

女子6級クラス（２８枠）

１　東西それぞれ、基本枠として５枠が与えられる。

２　前年度インカレ上位１８名の東西比率によって、１８枠を東西に比例配分する。

女子5級クラス（２０枠）

１　東西それぞれ、基本枠として５枠が与えられる。

２　前年度インカレ上位１２名の東西比率によって、１０枠を東西に比例配分する。

女子4級クラス（１６枠）

１　東西それぞれ、基本枠として５枠が与えられる。

２　前年度インカレ上位１０名の東西比率によって、６枠を東西に比例配分する。

女子3級クラス（１２枠）

１　東西それぞれ、基本枠として３枠が与えられる。

２　前年度インカレ上位８名の東西比率によって、６枠を東西に比例配分する。

1. **大学毎のインカレ出場枠について**

大学毎のインカレに出場可能な人数は、その年の東西インカレの結果により、下記の方法で決定される。なお、出場枠は大学に対して付与されるため、大学内で誰がインカレに出場するかは各校の判断に委ねられる。

男子7.8級クラス

１　シード校に対して、各１枠の出場枠を付与する。

２　成績上位の者から順に、各校３枠（シード枠を含む）を上限に、大学に対して出場枠を付与する。ただし、シード校であっても、予選参加人数を超えて出場枠を与えることはない。

男子5.6級、3.4級クラス

成績上位の者から順に、各校２枠を上限に、大学に対して出場枠を付与する。

女子

女子7.8級クラス

１　シード校に対して、各１枠の出場枠を付与する。

２　成績上位の者から順に、各校３枠（シード枠を含む）を上限に、大学に対して出場枠を付与する。ただし、シード校であっても、予選参加人数を超えて出場枠を与えることはない。

女子3・4・5・6級クラス

成績上位の者から順に、各校２枠を上限に、大学に対して出場枠を付与する。

※たとえば、東西インカレの参加者が２名であれば、シード校であってもインカレ出場枠の上限は２枠である。

1. **補欠について**

東西インカレ・インカレともに、補欠のエントリー数に上限は定めない。ただし、出場可能人数を超えてエントリーした大学は、遅くとも滑走順の抽選までに、誰が補欠選手かを学連に連絡しなければならない。また、抽選会以降、補欠の交代は認められない。

補欠についての補足

　事前登録選手の入れ替えは可能。補欠選手を無制限に登録できます。

この制度は今年度より施行していますが、こちらは大会ギリギリまで選手を吟味したいという、選手権や上位クラスの選手を多く抱える大学からの要望で実現しました。

学連側と致しましては参加大学に選択肢が少しでも長く残ればという思いで改定させていただいた所存です。

補欠登録をするかしないか、補欠を何人登録するかは各大学の自由です。エントリーには同時に登録費が発生しますが、各大学の事情を踏まえ、事前登録選手の入れ替えを柔軟にできるようにするために補欠選手を無制限に登録可能にしました。全員登録を強制しているわけではないので昨年までのように補欠を1人にすることは何も問題ありません。学連側としては補欠の人数を増やすことで加盟校の選択肢を増やしただけであり加盟校にデメリットが発生するようには思えません。それを踏まえて昨年までと比べて加盟校に不利益な点等ご意見ございましたら検討させていただきたく思いますのでお寄せください。